

令和7年度旭川市介護予防高齢者聞こえ支援モデル事業 実施結果

1. モデル事業参加申込状況

- (1) 助成件数上限 100件
(2) 参加申込件数 510件

【内訳】

決定：506件（申込方法：オンライン178件、窓口207件、郵送121件）

（年代：60代16人、70代189人、80代251人、90代50人）

取下：3件 取下理由（助成前に補聴器を購入するため1件、補聴器が不要となったため2件）

却下：1件 却下理由（住宅型有料老人ホームに居住1件）

2. 助成申請状況

- (1) 抽選実施件数 506件

【内訳】

当選：100件

補欠：40件

選外：366件

- (2) 最終助成決定件数 86件

（当選者申請数68件、繰上げ助成申請18件）

当選100件のうち 助成申請：68件

助成申請取下※：28件

助成申請なし：4件

補欠40件のうち 繰上げ助成申請：18件

助成申請取下※：22件

- (3) 補聴器購入金額

最低：50,000円（片耳）

最高：870,400円（両耳）

平均：279,450円

中央値：255,000円

- (4) 補聴器購入個数

両耳：48件

片耳：38件（うち右耳のみ23件、左耳のみ15件）

※申請を取り下げた理由	当選者		補欠者	
聴力40dB未満	11	39%	6	27%
身障手帳該当	4	14%	2	9%
補聴器購入済み	-	0%	3	14%
補聴器購入中止	12	43%	10	45%
その他	1	4%	1	5%
合計	28	100%	22	100%

3. 購入前後アンケート結果から見る事業効果

アンケート結果において、補聴器の購入前後の比較で、全体としてすべての項目について

てポイントが好転傾向を示した。

【資料】

- ・購入前アンケート結果 回収数 86 件 別紙 1
- ・購入後アンケート結果（購入約 3 か月後に依頼） 回収数 81 件 別紙 2
- ・購入前と購入後の聞こえ比較 別紙 3

（１）購入前と購入後の聞こえの比較結果（抜粋） 別紙 3

- ・様々な状況での聞こえに関する項目が好転
小声の聞き取り、ラジオやテレビ、レストランでの聞こえ
- ・人とのコミュニケーションに関する項目が好転
初対面の人との気まずさ、家族との会話のストレス、友人や親類・近所の人との会話の
困り感、家族との口論
- ・心理的側面に関する項目が好転
聞こえないことで不利益を受けている、やりたいことが十分にできないと感じる
- ・社会参加に関する項目が好転
よく聞こえないために集会や会合への出席をためらう

（２）補聴器を使ってみて感じた効果

- ・外出する機会が増えた 20 人
- ・運動する機会が増えた 10 人
- ・人と会話する機会が増えた 43 人
- ・その他（自由記述） 24 人

（３）今後参加してみたいと思う介護予防教室

- ・あさひかわ健幸運動教室（市主催） 15 人
- ・認知症予防教室（市主催） 17 人
- ・地域の通いの場 26 人
- ・その他（自由回答） 16 人

→電話による参加勧奨を実施した

（４）この事業を活用した感想や意見（自由回答） 別紙 2

【本事業による効果】

- ・聴力低下により日常生活に支障が生じている高齢者について、補聴器を使用すること
で、生活状況が改善し、人とのコミュニケーション機会や外出の機会が増加しており、満
足度も高いという結果が認められた。
- ・本事業により、高齢者の外出意欲の向上や地域交流の促進につながり、介護予防にも良
い影響を及ぼす効果があった。